

意見書

教 科
外国語

種 目
英語

発 行 者
東京書籍

調査項目	意 見				
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・単元の数、扱う言語材料の数において、小中の接続を十分に考慮した配置になっている。 ・言語活動の設定数では、5 領域がバランスよく設定されている、特に 1 年生では、「聞く」ことに焦点を当てた活動が多い。			
	(2)	・小中の接続を重要視しており、小学校で学習した内容を、1 年生で「書くこと」を含めて学び直すことができる。 ・小学校で学習した語句が、中学校の新出語句と同等に扱われており、「書くこと」の中学校での指導が明確になっている。			
	(3)	・言語活動を補助するための資料が豊富にあり、教科書を使って、対話を繰り返すことで、学習内容を定着することができる。 ・単元構想がわかりやすく、各単元でできるようになる目標・目的が明確である。			
2 第 4 次岐阜県教育 振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・Small Talk の際に活用できる質問と解答例が巻末に掲載され、即興的な「話すこと [やりとり]」の帯活動において大変活用しやすい。 ・小集団になって、書いた英文を読み合ったり、協力して問題解決したりする活動が設定されている。			
	(2)	・単元末に言語活動が設定されており、学習者は目標をもって、単元に臨むことができる。 ・デジタルコンテンツが充実しており、それらを利用した、言語活動や評価を実践することができる。 ・各学年末及び各「Stage」末の到達点を示す「学習を振り返ろう-CAN-DO リスト-」が巻末に掲載され、自己評価を行うことができる。			
	(3)	・二次元コードの数・内容、共に大変充実している。 ・デジタル教科書の機能が豊富で、多くの視覚的情報を授業で提示しながら進めることができる。 ・解説動画などのデジタルコンテンツが特に充実しており、学習進度に合わせて進めることができ、生徒が主体的に家庭学習を行えるよう工夫されている。			
3 印刷・製本等	(1)	学年 判型 重量 厚さ 総ページ 1 年 A4 版 4 20 g 7. 0mm 1 70 頁 2 年 A4 版 3 84 g 6. 5mm 1 58 頁 3 年 A4 版 3 84 g 6. 5mm 1 58 頁			
	(2)	・すべての生徒の色覚特性に適応するようデザイン。ユニバーサルデザイン書体を使用。1 年生本文はブロック体を、巻末の単語リストは活字体を使用。2 年生以降は活字体を使用。			
	(3)	・巻末資料の「Small Talk 表現例」では、各単元で行う言語活動の場面・状況が具体的に示されており、活用しやすいものになっている。 ・語順カードは、1 年生に英語の文のルールを視覚的・体験的に示すことができるので、英語学習の導入期に活用することができる。			

意見書

教 科
外国語

種 目
英語

発 行 者
開隆堂出版

調査項目	意 見																					
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・身近な話題・社会的な話題について話す【Our Project】、本文の題材に関連したテーマについて話す【Action】、身近なことについて話す【Small Talk】の、3つのステップを踏んで「話すこと[やり取り]」を育成する流れになっている。																				
	(2)	・小学校と同じプロセスで新出表現を学ぶ Scenes が設定されている。 ・小学校で慣れ親しんだ「場面を表す絵（マンガ）や動画を見ながら、対話のやり取りを聞く」活動を通して、新出表現を学習することができる。																				
	(3)	・習得した「知識・技能」を活用しながら、「思考力・判断力・表現力」を培える構成となっており、基礎・基本の定着を図る流れになっている。																				
2 第4次岐阜県教育振興基本計画 (令和6年3月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・協働学習で学び合い、高め合うことができるよう、学期末のまとめの活動に【Our Project】が配置されている。普段の学習の【Our Project】につながるという目標ができ、学習意欲の向上につながるような学習過程となっている。																				
	(2)	・【Our Project】は、①モデルの理解・分析②構想を練る・メモの作成③リハーサル原稿の修正④本番・振り返りという流れで、課題解決に向かう活動の設定がされている。最後に自己評価を行うチェック欄が設けられている。																				
	(3)	・英語音声、アニメーション、実写動画など、タブレットからアクセスできる。生徒が自らの学習を選択し、いつでもどこでも取り組める仕組みになっている。																				
3 印刷・製本等	(1)	<table><tr><td>学年</td><td>判型</td><td>重さ</td><td>厚さ</td><td>総ページ</td></tr><tr><td>1 年</td><td>A 4 版</td><td>412 g</td><td>7.5 mm</td><td>182 頁</td></tr><tr><td>2 年</td><td>A 4 版</td><td>368 g</td><td>6.5 mm</td><td>166 頁</td></tr><tr><td>3 年</td><td>A 4 版</td><td>368 g</td><td>6.5 mm</td><td>166 頁</td></tr></table>	学年	判型	重さ	厚さ	総ページ	1 年	A 4 版	412 g	7.5 mm	182 頁	2 年	A 4 版	368 g	6.5 mm	166 頁	3 年	A 4 版	368 g	6.5 mm	166 頁
	学年	判型	重さ	厚さ	総ページ																	
	1 年	A 4 版	412 g	7.5 mm	182 頁																	
2 年	A 4 版	368 g	6.5 mm	166 頁																		
3 年	A 4 版	368 g	6.5 mm	166 頁																		
(2)	・すべての生徒にとって見やすく、使いやすい紙面になっている。（カラーユニバーサルデザイン、ゆとりある紙面、UDフォント、発達段階に応じた書体）																					
(3)	・通常授業では十分に扱えない英語表現や異文化情報を深掘した【Coffee Break】が設けられている。																					

意見書

教 科
外国語

種 目
英語

発 行 者
三省堂

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・「話すこと[やり取り]」の言語活動が多く設定されている。5領域の言語活動数がバランスよく設定されている。 ・多くの情報から、必要な情報を探しながら読む活動が設定されている。
	(2)	・1年生初めに好きなもの、好きなキャラクターなどをテーマにした対話活動が設定されている。小学校で学習した身の回りにあるものの単語が掲載されたページがある。 ・防災、環境問題、平和などの社会的な話題の取り扱いがある。
	(3)	・読んだり聞いたりしたことについて感じたことや、自分について考えたことを話したり書いたりする活動が設定されている。 ・単元末の活動では目的、場面、状況が明確に示されており、CMや観光マップを作るなどの活動が設定されている。
2 第4次岐阜県教育振興基本計画 (令和6年3月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・話したり書いたりするときの参考になる単語の一覧が掲載されている。 ・会話を継続するためのコツを話し手と聞き手に分けて示したページが設定されている。 ・小集団で話し合うテーマを決め、協力して資料を作成したり発表したりする活動が設定されている。
	(2)	・CAN-DO リスト自己チェックシートを巻末に掲載している。 ・各単元末や年3回設定されている Project の最後に自己評価を行うチェック欄が設けられている。
	(3)	・二次元コードが240個あり充実している。 ・文法や発音の解説動画があり、家庭学習で活用できる。各単元の題材の資料映像が豊富にある。 ・デジタルワークシートに書き込んだり、スクリーンショットで保存したりすることができる。
3 印刷・製本等	(1)	1年生 A4 版 418g 8.0mm 188 頁 2年生 A4 版 386g 7.5mm 172 頁 3年生 A4 版 387g 7.5mm 172 頁
	(2)	・カラーユニバーサルデザインに配慮。ユニバーサルデザイン書体を使用。1年生本文はブロック体、巻末の単語リストは活字体を使用。2年生以降は活字体を使用。
	(3)	・単語リストでは、類義語の違いの解説が付いている。 ・ロールプレイシートでは、目的、場面、状況が示されており話す活動の補助教材として活用できる。

意見書

教 科
外国語

種 目
英語

発 行 者
教育出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・3年生では導入する文法事項が少ないが、高校入試までに定着を図る時間を十分確保できる作りである。 ・「話すこと[発表]」の言語活動が6者の中で最も多く設定されている。「話すこと[やり取り]」の活動は他者より少ない。
	(2)	・1年生の初めでは、絵を見ながら音声を聞いて、小学校で学んだ表現を振り返ったり、慣れ親しんだ語句や表現を使って対話したりする言語活動がある。 ・自然、人権、福祉、平和などの社会的な話題の取り扱いがある。1、2年生は他者と同程度だが、3年生ではやや少ない。
	(3)	・Tips for Speaking では話す目的、場面、状況の設定が明確である。 ・Part3 の最後にある Read&Try!では、読んだことに関わり自分の考えを表現する場が設定されている。
2 第4次岐阜県教育振興基本計画 (令和6年3月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・やりとりや作文の表現例を巻末資料で1～2例ずつ紹介しており、何をどのように伝えればよいか見通しをもちやすい。 ・小集団で役割演技や新聞作成をする活動や、グループ対抗のディベートが設定されている。小集団の活動としては他者より少ない。
	(2)	・CAN-DO リスト自己チェックシートを巻末に掲載している。 ・各単元末の Task(内容理解、活動に関する自己評価)や年3回設定されている Project の最後に自己評価を行うチェック欄が設けられている。
	(3)	・録音、再生機能があり、自分の発音とネイティブの発音を比較し自己調整しながら学習できる。 ・動画や音声の再生やワークシートをダウンロードし、家庭学習で使用できる。
3 印刷・製本等	(1)	全学年 AB 版 365g 8.0mm 182 頁
	(2)	・カラーユニバーサルデザインに配慮。ユニバーサルデザイン書体を使用。1年生は全てブロック体を使用。2年生以降は活字体を使用。
	(3)	・単語リストでは、類義語の違いの解説が付いている。 ・各 Lesson の言語活動での使用に参考となる英文例が示されている。 ・形容詞、副詞の語形変化を種別にまとめている。

意見書

教 科
外国語

種 目
英語

発 行 者
光村図書出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・単元の数、扱う言語材料の数において、各学年均一にバランスよく配置されている。 ・言語活動の設定数では、リスニングを中心にどの学年でも多くの言語活動がバランスよく設定されている。
	(2)	・既習表現を使う言語活動が数多く設定されており、自分の表現が広がっていることを感じやすくなっている。
	(3)	・実社会で利用される場面が多く設定されており、学ぶ目的や意味を感じながら学習を進めることができる。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・言語活動を中心に学習を進めていく中で、仲間の表現を取り入れ、自分の表現を再構築していくことができる。
	(2)	・CAN-DO リストを提示しており、各単元にできるようになることが分かりやすい。
	(3)	・ICT を活用した学習の進め方を紹介するページがあり、家庭学習に ICT を取り入れることができる。
3 印刷・製本等	(1)	学年 判型 重量 厚さ 総ページ 1 年 AB 版 3 93g 8 .0mm 1 94 頁 2 年 AB 版 3 88g 8 .0mm 1 94 頁 3 年 AB 版 3 86g 8 .0mm 1 94 頁
	(2)	・カラーユニバーサルデザインに配慮。ユニバーサルデザイン書体を使用。1 年生はすべてブロック体を、2 年生以降 の本文は 活字体を、巻末の単語リストはブロック体を使用。
	(3)	・巻末資料の「Small Talk 質問例」では、言語活動を継続させるための手立てになる。 ・英文の書き方や辞書の使い方など、英語学習の導入期に活用できる資料が豊富である。

意見書

教 科
外国語

種 目
英語

発 行 者
新興出版社啓林館

調査項目	意 見																					
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・即興的に「話すこと[やり取り]」の力を育成するための活動として、Unit の各パートに、Enjoy Chatting が掲載されている。																				
	(2)	・小学校での学びを踏まえた目標設定がある。 ・小学校で「聞く」「話す」を中心にした英語を学んできたことを踏まえて、1 年 Unit 1 ～Unit 5 は、「話すこと」を中心に設定されている。																				
	(3)	・各学期末の【Project】において、身に付けた知識・技能や思考力・判断力・表現力を活用したり、さらに育成したりすることができる学習過程になっている。																				
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・音声・動画を中心に、学校での授業でも、家庭学習でも使えるコンテンツが多くある。教科書の音声を繰り返し聞く、本文のアニメーション映像を見ることができたり、動画の再生速度調整や字幕の切り替えなど、生徒が様々な場面で主体的に学習を進めることができたりする。																				
	(2)	・「この学習に取り組むことで何ができるようになるか」を具体的に設定しているので、生徒がイメージをもちやすい。学年末及び書く学期末の到達点を示す CAN-DO リスト を巻末に掲載している。																				
	(3)	・基本機能に、書き込み情報や拡大率を保存したり、「超しおり」をつけたページに移動したりできる。																				
3 印刷・製本等	(1)	<table><tr><td>学年</td><td>判型</td><td>重さ</td><td>厚さ</td><td>総ページ</td></tr><tr><td>1 年</td><td>A 4 版</td><td>387 g</td><td>6.0 mm</td><td>166 頁</td></tr><tr><td>2 年</td><td>A 4 版</td><td>395 g</td><td>6.5 mm</td><td>170 頁</td></tr><tr><td>3 年</td><td>A 4 版</td><td>364 g</td><td>6.0 mm</td><td>154 頁</td></tr></table>	学年	判型	重さ	厚さ	総ページ	1 年	A 4 版	387 g	6.0 mm	166 頁	2 年	A 4 版	395 g	6.5 mm	170 頁	3 年	A 4 版	364 g	6.0 mm	154 頁
	学年	判型	重さ	厚さ	総ページ																	
	1 年	A 4 版	387 g	6.0 mm	166 頁																	
2 年	A 4 版	395 g	6.5 mm	170 頁																		
3 年	A 4 版	364 g	6.0 mm	154 頁																		
(2)	・カラーユニバーサルデザインに配慮。ユニバーサルデザイン書体を使用。1 年生はすべてブロック体。2 年生以降は活字体を使用している。																					
(3)	・活動の際に役立つ語彙・表現をジャンルごとに掲載している。教科書の活動に合わせてジャンルを選定しているので、自己表現の際、「こういうことを言いたいけれどどうやって言うのかな」という時のサポートになる。																					